

第 22 回定年力検定試験

模範解答と一部解説

問題番号	生活	税金・不動産	保険・年金	金融	相続
1	1	2	3	3	1
2	3	1	1	1	2
3	3	3	3	1	3
4	1	1	2	3	1
5	2	3	2	1	3
6	3	1	2	3	1
7	2	2	1	3	3
8	2	3	3	2	3
9	1	2	2	3	3
10	3	1	3	2	1
11	3	2	1	1	2
12	2	2	3	1	3
13	3	1	1	3	2
14	1	2	3	2	2
15	1	3	3	1	1
16	1	3	2	2	2
17	3	2	1	2	3
18	2	3	2	1	3
19	1	1	1	3	3
20	2	2	2	1	1

<不正解が多かった問題の解説>

【保険・年金】

問 19

変額保険は、死亡・高度障害保険金・満期保険金の額が特別勘定の運用によって変動するタイプの保険で、死亡・高度障害保険金には基本保険金額が最低保証されています。テキスト 177 ページを参照してください。

問 20

個人賠償責任保険は、個人が日常生活での偶然な事故によって、他人に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った時に補償が受けられます。預かり物や借り物は保険の対象外となっています。また、1つの契約で家族全員が補償の対象となります。家族とは「本人、配偶者、生計を一にする同居の親族、生計を一にする別居の未婚の子」をいいます。家族とみなされる人が他人に損害を与えた場合は補償されるという利点がある一方で、同居の親族のパソコンを壊した場合は、家族のものを壊したとみなされるため、個人賠償責任保険の対象とはなりません（生計を一にしていなかったことが証明される場合は対象となる場合があります）。よって、正解は「②店に陳列しているパソコンを破損させた」となります。テキスト 199 ページを参照してください。

【金融】

問 14

投資信託の運用スタイルのうち、ベンチマークの動きにできる限り連動することを目指す運用をパッシブ運用といい、その代表的な商品はインデックス・ファンドです。テキスト 254 ページを参照してください。

問 17

金融商品取引法では、金融商品取引業者等は、取引を行う際、顧客の知識や経験、財産状況に応じた説明をしなければならないとしているが、これを適合性の原則といいます。テキストの 275 ページを参照してください。